

Accoustic Arts Audio Recordings CD

"Joe Gallard - Blue Minor -"

¥8,000/税別 2019年9月21日発売

2009年、ハイエンドの世界で良く知られ、各賞に輝くアコースティックアーツは、音楽再生に照準を合わせた、オーディオファイル向けの、レコードレーベルとして、新しくAccoustic Arts Audio Recordingを立ち上げました。

私共の哲学は、プロデューサー、レコーディングエンジニア、ミュージシャンに感謝を払い、オーディオファイルに相応しい、音楽を提供する事です。今日、音楽の世界を支配するのは、スポットライトに照らされた、誇大広告と宣伝の産物です。しかし、音楽の真の基盤は、プロダクションとレコーディング、これらの経験と技能であると言えます。これらを強調し、焦点を合わせた、今回のシリーズ第六弾が、トロンボーン奏者 Joe Gallard - Blue Minor - となります。



JOSE JOE GALLARDO

ホセ「ジョー・ガヤルド」(1939年9月22日に生まれる)はアメリカ人のジャズミュージシャンであり作曲家です。彼はモンゴ・サンタマリアのアルバム Amanecer「夜明け」のタイトルトラックを作曲しました。Amanecerは1978年のグラミー賞で、ベストラテンレコーディング賞を獲得しました。1970年代後半から、彼はドイツに住んでいて働いてきました。ガヤルドは、テキサス州のコーパスクリスティで生まれ育ち、6歳でピアノを演奏し、1歳でトロンボーンを始めました。音楽を専攻して、彼はデルマールカレッジとコーパスクリスティ大学に通っていました。彼の音楽のキャリアは、ルイス・アルカラス、スタン・ケントン、モンゴ・サンタマリアと共演し、サミー・デイピスJr.、トニー・ベネット、そしてチェット・ベイカーをサポートしたことが挙げられます。



Andi Meile



Ralf Hesse



Michael Kersting



Thomas Stabenow



Milan Sajc, Joe Gallardo, Hans Joachim Voss



Martin Schrack



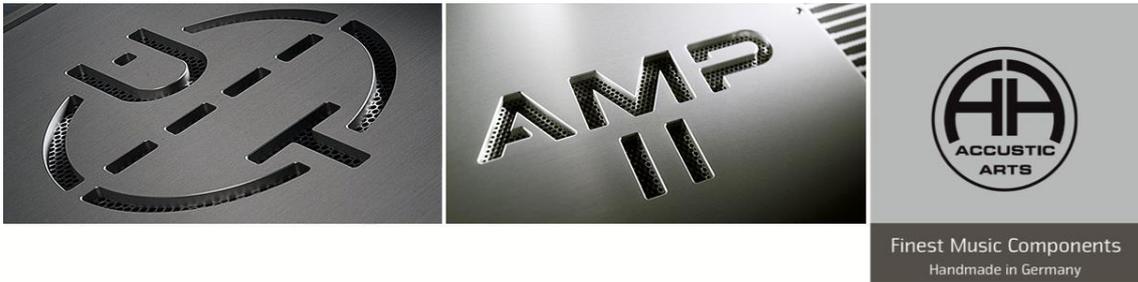
Martin Hauser

Ralf Hesse: Trumpet/Flugelhorn
Andi Meile: Tenor/Soprano Saxophones
Eberhardt Budziat: Bass Trombone
Thomas Stabenow: Acoustic Bass
Martin Schrack: Acoustic Piano
Michael Kersting: Drums
Martin Hauser: Percussion



- Track No.1. Mi Sambita (Jose Gallardo)
- Track No.2. Patrice (Jose Gallardo)
- Track No.3. Muchacha (Jose Gallardo)
- Track No.4. Blue Minor (Jose Gallardo)
- Track No.5. Alone (Jose Gallardo)
- Track No.6. La Bikina (Ruben Fuentes)
- Track No.7. Caravan (Juan Tizol)
- Track No.8. One less Winter (Jose Gallardo)
- Track No.9. Aurora Bourealis (Jose Gallardo)
- Track No.10. You don't know what Love is (Gene de Paul)
- Track No.11. My Funny Valentine * (Richard Rogers)

Bar Code : 4260191970049



ACCUSTIC ARTS AUDIOPHILE RECORDINGS

JOE GALLARDO - Blue Minor -

ホセ「ジョー・ガヤルド」(1939年9月22日に生まれる)はアメリカ人のジャズミュージシャンであり作曲家です。彼はモンゴ・サンタマリアのアルバム Amanecer「夜明け」のタイトルトラックを作曲しました。Amanecer は 1978 年のグラミー賞で、ベストラテンレコーディング賞を獲得しました。1970 年代後半から、彼はドイツに住んでいて働きました。ガヤルドは、テキサス州のコーパスクリスティで生まれ育ち、6 歳でピアノを演奏し、14 歳でトロンボーンを始めました。音楽を専攻して、彼はデルマールカレッジとコーパスクリスティ大学に通っていました。彼の音楽のキャリアは、ルイス・アルカラズ、スタン・ケントン、モンゴ・サンタマリアと共演し、サミー・デイビス Jr.、トニー・ベネット、そしてチェット・ベイカーをサポートしたことを含みます。

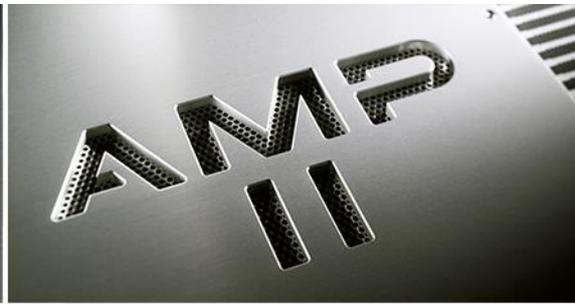
1959 年、デルマールカレッジのジャズクラブとアンサンブルのカレッジメンバーとして、ガヤルドは生のジャズミュージシャンを、学生のために演奏させさせるというアイデアを思いつきました。これにより、ガヤルドはテキサス州コーパスクリスティで、テキサスジャズフェスティバルの創設者になりました。

1977 年、モンゴ・サンタマリアのアルバム Amanecer「夜明け」はグラミー賞を受賞し、ガヤルドは作曲、編曲、演奏し、Marty Sheller によってプロデュースされました。タイトル曲 Amanecer はガヤルドによって書かれ、編曲され、演奏されました。ミュージシャンが含まれています:モンゴ・サンタマリア、マイクディマルティーノ、アルウィリアムズ、ロジャーローゼンバーグ、ビルオコネル、スティーブベリオス、そしてグレッグジャーマン。モンゴ・サンタマリア、マイクディマルティーノ、アルウィリアムズ、ロジャーローゼンバーグ、ビルオコネル、スティーブベリオス、そしてグレッグジャーマン。

シュツットガルトのドイツラジオ/テレビオーケストラは、1978 年にガヤルドにソロ奏者としての地位を提供しました。1991 年に、ハンブルクラジオ/テレビオーケストラからのソロ奏者ならびに指揮者の申し出を受けるまで、彼は 11 年間そこに留まりました。1991 年にドイツの放送局 NDR ビッグバンドに参加すると、彼はラテンジャズのビッグバンド作曲を持ち込み、それらを国際的に演奏し始めました。

1978 年にドイツに到着した後に、ガヤルドは彼のバンド Latino Blue のために書き始め、サンドラレコードのために彼の最初のドイツの LP をレコーディングしました。彼は 2002 年に、新しい Latino Blue グループを始め、Enja のために Blue の A Latin Shade をレコーディングしました。このレコーディングでは、Jazz Baltica と Burghausen Jazz Festival に出演してバンドをコンサートスケジュールに載せました。

2013 年に、ガヤルドはロベルト・サンタマリア(モンゴ・サンタマリアの甥)とアルバム Fiesta Al Jazz をソリスト特集として Latin Jazz Stars と結びつけました。録音された曲の中には、グラミー賞を受賞した「夜明け」がありました。



Finest Music Components
Handmade in Germany

BLUE MINOR



1. Mi Sambita (Jose Gallardo)
2. Patrice (Jose Gallardo)
3. Muchacha (Jose Gallardo)
4. Blue Minor (Jose Gallardo)
5. Alone (Jose Gallardo)
6. La Bikina (Ruben Fuentes)
7. Caravan (Juan Tizol)
8. One less Winter (Jose Gallardo)
9. Aurora Bourealis (Jose Gallardo)
10. You don't know what Love is (Gene de Paul)
11. My Funny Valentine * (Richard Rogers)

Recorded by Milan Sajé at Bauerstudios Ludwigsburg Germany
Assistant Engineer: Michael Thumm
Mixed by Milan Sajé at Audioarts Sachsenheim
Mastered by Milan Sajé and Sven „Samson“ Geiger
Produced by Milan Sajé
Graphic Design: Christof Mühlberger
An Accustic Arts Audiophile Recording www.accusticarts.de
© 2019 Accustic Arts